

廣岡選手が快心のレースで2連勝! ランキング首位の東選手は2戦とも2位に



2019年6月23日 鈴鹿サーキット国際南コース(三重県) くもり(ドライ) 参加台数: 15台

2019 ROK SHIFTER CUP 鈴鹿シリーズの第6戦 / 第7戦が6月23日に開催された。全6大会・11戦で行なわれるこのシリーズ戦は、今回の大会が折り返し点。イタリアで開催されるインターナショナルファイナルの招待券が懸かったポイントレースは、ここからいよいよ佳境に入る。

エントリーは最年少19歳、最年長57歳の15名。薄ぐもりの空の下で行なわれたタイムトライアルでは、第1 / 2戦のウィナー廣岡陸勢選手(トレンタクワトロ)が48秒298でトップとなった。0.139秒差の2番手に着けたのは伊藤慎之典選手(HRT&チャリ走!GO!KART!)。3番手はポイントリーダーの東拓志選手(NEXT-ONE Racing)。4番手には43歳の元KFドライバー佐藤奨二選手(INTREPID JAPAN CORSE)が着け、マスタークラスのトップとなった。5・6番手は小林直弘選手(HRT)と金田翔選手(TAKAGI PLANNING)だ。

マスタークラスでは西野武志選手(LYNX)が総合8番手でクラス2番手、岡本孝之選手(ハラダカートクラブ)が総合9番手でクラス3番手となった。


